



(様式2)

令和2年10月12日

姶良市議会議長 東馬場 弘 様

会派名 市民くらぶ
代表者氏名 吉村 賢一

[Redacted]印

調査研究報告書

下記のとおり実施しましたので届け出ます。

記

- 1 日程 令和2年10月8日（木）
- 2 場所 曽於郡大崎町
- 3 目的 生ごみ処理・資源物リサイクル日本への取り組み研修
- 4 該当する政務活動費の使途項目
調査研修費
- 5 支出経費の内訳と金額

お土産（加治木饅頭）￥5,550.- ① ÷ 5 × 4 = 4,440円

資料代 ￥4,000.- ② (4人分)

ガソリン代（ハイオク）￥2,869.- ③ (19L * 151円) ÷ 5 × 4 = 2,296円

出発時走行距離 131,521km

到着時走行距離 131,770km 差引 149km

合計10,736円

（お土産代及びガソリン代は有川議員と按分）

- 6 参加議員名 吉村賢一・上村 親・湯川逸郎・峯下 洋
- 7 活動成果の概要、所見
別紙のとおり
- 8 成果物、資料等
現地研修ビデオ、写真・研修資料、パンフレット

領 収 証

姶良市議会市民くらぶ様 2年10月7日

★ ￥5,550-

(1)

但

上記正に領収いたしました

内 訳

税率	金額(税抜・税込)
10 %	消費税額等
税率	金額(税抜・税込)
8 %	消費税額等

創業文政六年 加治木まんじゅう
美坂饅頭屋
〒899-5222 鹿児島県姶良市加治木町錦江町180
TEL・FAX(0995)62-255

登録番号



領 収 証

姶良市議会 市民くらぶ様

No. _____

★ ￥4000 -

(2)

内 訳

現 金	但
小切手	資料代として
手 形	/
消費税額等(%)	/

但 資料代として

令和 2年10月8日 上記正に領収いたしました



コクヨ ウケ-98

大崎町衛生自治会
会長 中村幸一

(3)

ENEOS

納品書(領収書)
2020年10月08日 18:51

売上	90-364-809-000000-9	種 M
BODYCAFEフリー		
車両番号	0020-00	実車番
ENEOSヴィーゴ	P-01	*
19.00L	151円	￥2,869
合計	￥2,869	￥2,869
(消費税10%対象)		￥2,669
内消費税等		￥261
金額	1万7131 5千2131 3千131	

原生くらぶの領収書が記載してあります。

有限会社山崎石油
始良セントラルSS
鹿児島県
姶良市
加治木町木田字草水2254-1
TEL:0995-62-4500 SS-372159
レジNo.2571-01 テレホン0995-2285
056段 買弘 2020/10/09

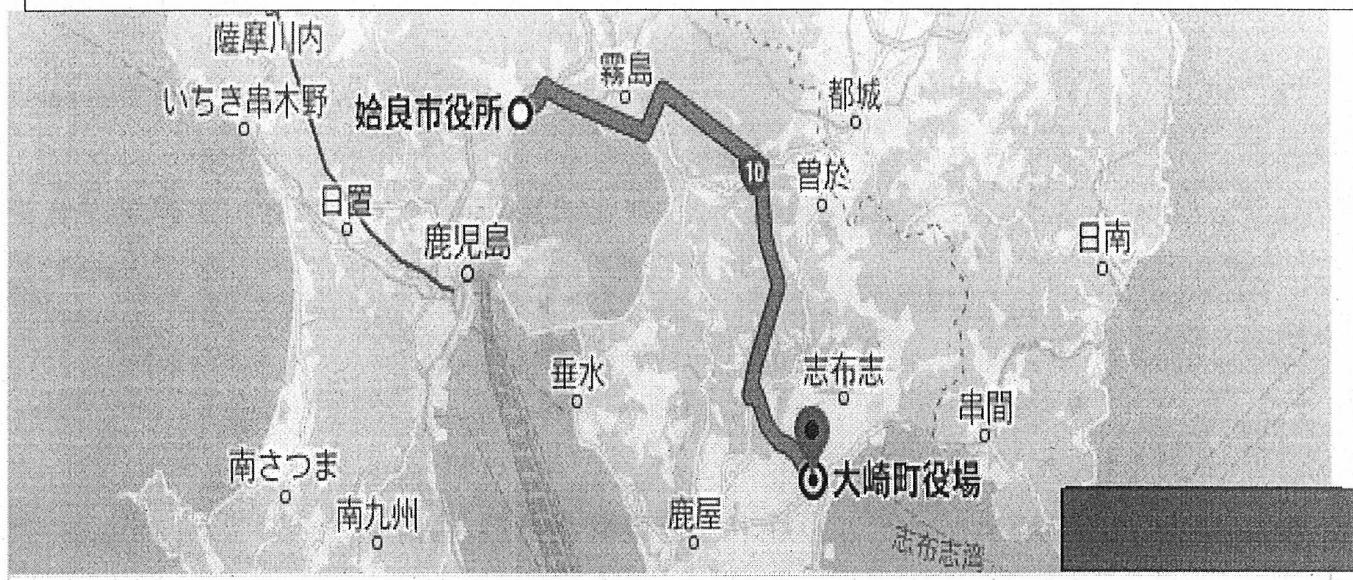
大崎町 研修視察

市民くらぶ研修について

(吉村・湯川・上村・峯下)

姶良市役所、〒899-5432 姉良市宮島町 25

大崎町役場、〒899-7305 曽於郡大崎町假宿 1029



片道 76.2 KM × 2 = 152.4 一般道利用

1L当たり 8 km 152.4 / 8 km ≈ 19.5 (L)

集合：令和2年10月8日（木） 8:15分 中庭集合

移動手段：上村親議員所有自家用車 借用

道路：一般道路使用（国道10号）

研修先：曽於郡大崎町

研修内容：①リサイクル率日本一に至る経過

②27品目の分別について

③自治会活動との関係

④ふるさと納税について

工程表

8:30 姐良市出発 ⇒ 10:10 大崎町着 ⇒ 研修（午前の部）⇒ 昼食 ⇒
⇒ 研修（午後の部+追加質問）16:30 大崎町出発 ⇒ 17:50 姐良市到着



(様式 2)

令和 2 年 1 1 月 6 日

姶良市議会議長 東馬場 弘 様

会派名 市民くらぶ
代表者氏名 吉村 賢一

調査研究報告書

下記のとおり実施しましたので届け出ます。

記

1 日程 令和 2 年 1 0 月 8 日 (木)

2 場所 曽於郡大崎町

3 目的 生ごみ処理・資源物リサイクル日本への取り組み研修

4 参加者 湯川、上村、峯下、吉村

まず、最初に大崎有機工場 グループ会社 (有)そおりサイクルセンターを視察。

事業系の草木生ごみは、15円/kgで引き取る。市民には無料搬入券を配布し、直接工場へ無料で引き取る。又は赤い資源ごみの袋で出せる。

年間1千t処理(1日3t~4t)キャタビラー九州の2万円/2t車~を使用している。一次発酵が1ヶ月から1.5ヶ月かかる。

週3回使われる60ℓの生ごみ容器は、購入した鋸屑を使い容器を洗うことで水分と匂いを吸収する、(汚水処理施設は無い)。凄く汚れているのは浄化槽のある中間処理施設で洗浄処理する。水はタンクに貯水し工場内で循環させ外には出さない。

生ごみの粉碎過程でヨモギ+黒砂糖を混ぜた乳酸菌で匂いを緩和する。生ごみは毎日3t入ってくるのでそれに、草木チップ混せて14ピットある仕切り壁の中に積上げる。週3回分が1ヶ月で1ピットいっぱいになる。

80度以上で種・雑菌は死滅するが、分解を助ける醜酵菌は残る=腐敗はしない。

50～60%の含水率を維持し菌が増え微生物が動きやすい環境を維持する。

ふるいにかけ、完熟堆肥になるまで半年かかる。

その後成分分析を行い、製品化する。

1袋5kg入りが100円。袋詰めでないバラは1kg/5円。軽トラ1台300kgで1,500円。七草農園の土づくりの過程で生ごみ堆肥の占める割合は、1/4～1/3.・・「環ちゃん」の名称で売り出している。(志布志では循ちゃんを使用) 要するに「循環」!

「大隅衛生」はリサイクルセンターとして独立している。

曾於市より大隅・財部処分場の管理及び財部地区一般廃棄物収集運搬業を受託している。

最終処分場

H2年新設、H17には満杯予定だったが、84%の削減でここ20年では15%位しか埋まっていない。累計で2/3しか使われていない状態。搬入は、個人でも捨てられる。ガラス製品や肌着類、粗大ごみが主(燃えるごみもあるので、できたら焼却場がある都市へ搬出したらどうか?と要らぬ口をはさんだ)。

今後の課題:海外では埋め立てられる紙おむつをほぐして糸に戻し洋服を作ることもできる。資源化して水平リサイクルしたいとの事。

「そおりサイクルセンター」もともとし尿処理の会社からグループ企業として独立して別会社をつくり廃棄物・中間処理まで範囲を拡げてきた。

そおりサイクルセンター(有機工場と同じ)、

中間処理施設として、大崎、曾於、志布志に加えて日南、串間のプラスチックごみまで10万人分の処理を行っている。

ペットボトル洗ってラベルを剥いでプラスチック250～300kg/約1m³の塊りで北九州市へ。天ぷら油⇒軽油・ディーゼル⇒構内の車に使用。150～200ℓ/月使った分の燃料代は油を受け取った分の燃料代を各市町村に返す。

アルミ300個で約7Kg・スチール350個で約14Kgとの事。

瓶 茶色・透明⇒宮崎へ

その他の色⇒道路路面材及び一部ビー玉

電池、蛍光灯(割って鉄、ガラス、水銀に分け有害物除去して)⇒北海道の業者へ販売

工場はH11に建設、雑金属、手作業で仕分けし家具・粗大ごみ…予約で各家庭に収集に行く(1回/月=無料)

資源ゴミ収集で、分別不良品は回収しない。

袋はビニールとして再生利用(宮崎)へ

小型家電(福岡)へ

座学研修 14:15～15時

世界標準、大崎に向けて（鹿児島県大崎町役場 住民環境課）

H7リサイクル法ができ、缶・瓶・ペットボトルの分別が始まった。

町に焼却場が無いことから、埋め立て地を如何に延命させるかという話になり、埋め立てるゴミを減らす取り組みが始まった。その結果現在のままで行くとあと35～45年は大丈夫。

戸別回収も行い、環境省の「高齢化対策事業」のおむつ改修BOXモデル事業に参加、自治会は80%の参加率。別途衛生自治会90%参加。

大崎町衛生自治会（1敷地内に2世帯がある場合1世帯だけの加入で良い）

ふるさと納税

1. 大崎町から他市町村のふるさと納税で出ている納税額は幾らですか

答) H元年度住民税額 5億386万円のうち、394万円。

2. ホーム頁は複数の会社を利用していますか 例) Auペイ マーケット通販

答) H元年度より4つのポータブルサイトに掲載。総額28億の割合は以下の通り。
ふるさとチョイス44%、楽天ふるさと納税27%、ふるさと26%、au Wowma! 3%。

3. 返礼品無しの寄付の占める割合は幾らですか

答) H26～R2までの累計133件 4,640,000円

4. 寄付者で地元関係者の割合はどの位ですか

答) 上記とほぼ同様

5. 返礼に係る経費は3割プラス2割（事務経費）位ですか

答) ほぼその通り

6. 窓口は観光協会か、返礼品担当職員は延何人が当たっていますか

答) 商工振興係、担当職員2名（兼務）=観光協会は存在しない。

7. 返礼品として目を引く品物の開発は民間任せですか

答) 当初は大崎町、現在は町内の業者。然しこれは！というものを見つけたら町からもアプローチする（例：プリン）している。

8. 注文が少ない出典物を取り下げる事はありませんか

答) 一切ない。通信販売やEC、道の駅の販売等促進します。

9. ふるさと納税額が増えることで地方交付税算定基準が変わることはないですか

答) 原則ありません。基金（22億円）が増えることで財政的なデメリットは法律上ありません。

10. 返礼品の種類と毎年見直しがありますか

答) 毎年増減があります。

11. 仮に鰻でも提供商店まで指定するのか、しなくてもいいのでしょうか

答) 現在8社ほど参入、養鰻場、問屋、加工場、飲食店など業種も様々だが、

町の依頼に基づき、返礼品を提供してもらっています。
返礼品希望は、饅が85%を占め、そのうち特定の店の品が80%。

ふるさと納税 総括：H20～R元年度累計 112億7617万2441円、425,086件

まとめ

・最初、27種類に仕分けすると聞いて、ものすごく大変そうと思ったが意外と順調に推移したとの事。やはり人間本氣で取り組めば妙案策が出てくるものだ。焼却炉を建設、維持するためには莫大な費用が掛かり、住民に負担としてのしかかってくる。「混ぜればゴミ、分ければ資源」リサイクル率83.1%⇒

(平成30年度実績) 12年連続日本 No.1(H18年度～H29年度)

住民の役割としては

①家庭や事業所できれいに分別する。
②分別したゴミを出す。ステーションで種類ごとに出す。この時ステーションではお互いが助け合い協力し合って、そこでコミュニケーションも生まれる。なんとも微笑ましい光景が眼に浮かぶ。

彼らは日本だけにとどまらず海外まで、インドネシアのデポック市(人口200万)の指南役として大崎町(1.2万)が世界へ羽ばたいている。すごい！！

「智恵と努力は万人の宝」誰でもその気になればできる！と思いたい！

ふるさと納税に関しても担当者がイキイキしている。「働きは最上の喜び」「働くとは（ハタ：まわり）を楽にする事」と聞くが彼らを見ていると眞にそういうだと感じた。一人一人が周りに対して思いやりの心を持って、どうすることが喜んでもらえるかを考えて取り組めば、創意工夫が生まれ、手助けする人がきっと現れると思う。それを信じて今後も色々な事にチャレンジしていきたい。